

令和2年度

鹿児島大学大学院教育学研究科
教育実践総合専攻
(修士課程)

学生募集要項

区分	出願期間	試験日	合格者発表
A日程	令和元年10月1日(火) ～10月15日(火)	令和元年10月26日(土)	令和元年11月11日(月)
B日程 (予定)	令和元年11月25日(月) ～12月6日(金)	令和元年12月21日(土)	令和2年1月10日(金)
C日程 (予定)	令和2年1月22日(水) ～1月31日(金)	令和2年2月15日(土)	令和2年3月6日(金)

- ※ 募集人員を満たした場合は、B日程、C日程は実施しない可能性があります。
- ※ B日程、C日程を実施する場合は、鹿児島大学ホームページでお知らせしますので、必ず確認してください。

鹿児島大学大学院教育学研究科

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号
電話 099-285-7713

鹿児島大学大学院教育学研究科 修士課程

概要

鹿児島大学大学院教育学研究科（修士課程）は、平成21年4月に「学校教育専攻」と「教科教育専攻」の2専攻から「教育実践総合専攻」の1専攻に改組されました。すなわち、教科や学問分野に細分化されたコース・専修を融合し、より広範な単位である学修コースを設置することによって、現実の課題に即した総合的な講義や研究方法の指導が可能となり、視野の広い高度の専門的知識・技能を背景に、広く教育の分野において優れた指導力を有する高度専門職業人の養成を図ることとしました。

さらに、小学校以外の教員免許状を取得している人においては「小学校教員免許取得プログラム(長期在学履修)」も選択できるようになりました。なお、現職教員をはじめとする社会人の皆さんが夜間でも受講可能で修士の学位を取得することのできる昼夜開講制を実施しています。

本研究科「教育実践総合専攻」は、「学校臨床系」、「人間発達系」、「生活・健康系」、「言語・社会系」、「理数・環境系」、「芸術・スポーツ系」の6つの学修コースから構成され、各教科に関する専門的知識に加えて学際的知識も修め、教育・研究能力を高めることをめざします。

アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1. 求める人材像

教育学研究科教育実践総合専攻では、次のような人材の入学を期待しています。

- ・学校教育及び教育全般に関する諸問題に関して問題意識を有する人
 - ・自身の問題意識を核にして、教職を含め広く社会への関心を広げ探究を深めたいと考える人
 - ・今日の教育が抱える諸問題の解決へ向けて強い意欲を持つ人
 - ・学校教育及び教育全般に関する研究領域の専門知識、実践に基づいた研究課題を明確に持つ人
- 各学修コースにおいては以下に示すような人材の入学を期待しています。

【学校臨床系学修コース】

- 1) 主として、学校教育に関わる職能開発を目指す人
- 2) 教育の諸課題について、教育課程、学校経営、学校カウンセリング、心理・教育アセスメントなどの視点から分析し、解決する意欲を有する人

【人間発達系学修コース】

- 1) 主として、人間発達を支援するための資質向上を目指す人
- 2) 人間発達の諸課題について、教育哲学・教育史、発達心理学・教育心理学、社会教育学・生涯学習論、特別支援教育などの領域からアプローチし、深く追求したい人

【生活・健康系学修コース】

- 1) 家庭の機能や生活・社会との関わり、また家政教育に深い関心をもち、総合的・科学的に探究しようとする強い意欲を有する人
- 2) 人の健康とその教育に強い関心と問題意識を持ち、研究に取り組み、高度な知識と実践的指導力を身につけたい人

【言語・社会系学修コース】

- 1) 社会・国語・英語各教科の教育に関する理論や実践に強い関心を持っている人
- 2) 人文・社会諸科学の専門的・系統的な研究に意欲をもって取り組む人

【理数・環境系学修コース】

- 1) 教育、とりわけ数学教育、理科教育、技術教育に深い関心を持ち、実践力の向上とその科学的探究に強い関心を持つ人
- 2) 数学、理科、技術などの各専門分野において、その専門性を高めていく意欲、自然環境を含む社会との関わりを高めていく意欲のある人
- 3) 児童・生徒の持つ潜在的な能力を引き出し、数理科学、自然科学、科学技術、環境への興味・関心を喚起していく熱意のある人

【芸術・スポーツ系学修コース】

- 1) 芸術・スポーツに関する専門知識を獲得するにとどまらず、実践への援用へ向けて強い意欲を持つ人
- 2) 美、音、動きの感性教育、特に、その意味と価値に関わる諸問題について強く問題意識を有する人

2. 入学前に身に付けておいて欲しいこと

入学後に希望する専門分野に関する基本的な知識と技術を身に付けておくことによって、研究科でさらに高度な段階に進めるよう準備しておくことが望まれます。

本専攻では共通科目を設置しているため、幅広い学問分野に接する機会が増えます。したがって、常に自らの視野を広げようとする姿勢と、多くの価値観を受け入れようとする姿勢を、日常生活のなかで心がけてください。

3. 入学者選抜の基本方針

本専攻の入学者受入方針にしたがい、入学者選抜に際しては、小論文、英語（もしくは研究業績代替）、専門選択科目（外国人留学生については専門選択科目と口述試験）を課し、さらに学業成績証明書を提出してもらうことによって、入学希望者の資質と能力を多面的に総合評価します。

これらの評価をとおして、本専攻の入学者受入方針にふさわしい人物を入学者として選抜します。

なお、入学試験についての詳細は、最新年度の「学生募集要項」で必ず確認をしてください。

1 専攻及び募集人員
専攻名：教育実践総合専攻

学修コース	専門選択領域	募集人員
学校臨床系	教育課程・方法学，学校経営， 教育心理学，発達心理学	22人 (若干人)
人間発達系	教育学・教育史，教育社会学，社会教育， 教育心理学，発達心理学，障害児心理，障害児保健	
生活・健康系	家庭科教育，被服学，保育学，生活経営学， 健康教育，健康運動	
言語・社会系	国語科教育，国語学，国文学，漢文学，書道， 社会科教育，歴史学，地理学，倫理学，法律学， 英語科教育，英語学，英米文学	
理数・環境系	数学科教育，代数学，理科教育，物理学，化学，生物学，地学， 技術科教育，機械，木材加工，栽培	
芸術・スポーツ系	音楽科教育，器楽〈ピアノ〉，声楽，作曲，音楽学， 美術科教育，絵画，彫刻，デザイン，工芸， 体育学，運動学，学校保健	

(注) () 内は，外国人留学生の募集人員を内数で示しています。

2 出願資格

次の(1)から(10)のいずれかに該当する者。

- (1) 大学を卒業した者又は令和2年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和2年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において，学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において，外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和2年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年2月7日文部省告示第5号）
- (8) 令和2年3月末現在において，大学に3年以上在学し，又は外国において学校教育における15年の課程を修了し，本研究科において，所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者(注)
- (9) 本研究科において，個別の入学資格審査により，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で，令和2年4月1日までに22歳に達する者(注)
- (10) 本研究科において，大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

(注) 上記の(8)，(9)により出願しようとする者には，事前の個別の入学資格審査を行いますので，以下の日時までに必要書類を提出してください。なお，事前審査申請書は，教育学部教務係へ請求してください。

その他出願資格について不明な点は，教育学部教務係に問い合わせてください。

区分	日時
A日程	令和元年8月28日(水) 17時まで
B日程(予定)	令和元年10月30日(水) 17時まで
C日程(予定)	令和元年12月25日(水) 17時まで

3 出願手続

(1) 出願方法

区分	出願期間
A日程	令和元年10月1日(火)～10月15日(火) 9時～17時まで
B日程(予定)	令和元年11月25日(月)～12月6日(金) 9時～17時まで
C日程(予定)	令和2年1月22日(水)～1月31日(金) 9時～17時まで

(注)ア. 土曜日・日曜日・祝日を除きます。

イ. 郵送の場合は「書留速達」とし、各日程の出願期間最終日 16 時までに必着ですので、郵便事情等を考慮して早めに発送してください。

ウ. B日程, C日程を実施する場合は、鹿児島大学ホームページでお知らせしますので、必ず確認してください。

提出先：〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号
鹿児島大学教育学部教務係 電話 099-285-7713

(2) 出願書類等

書類等	提出該当者	摘要
入学志願票	全員	本学所定の用紙による。
受験票・写真票	全員	本学所定の用紙による。
入学検定料 (30,000円)	全員	別添の振替払込用紙を使用して、郵便局の受付窓口から検定料を払込むこと。(ATMでの払い込みはできない。)また、出願の際、「検定料振替払込受付証明書(お客さま用)」を、日付印欄の押印を確認の上、所定の台紙に貼付したものを提出すること。 なお、既納の入学検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ①払込んだが出願しなかった場合 ②誤って二重に払込んだ場合
成績証明書	全員	出身大学長又は学部長が作成し、厳封したもの。
卒業証明書又は卒業見込証明書	全員	出身大学長又は学部長が作成したもの。
研究希望調書	全員	本学所定の用紙による。
あて名シール	全員	本学所定の用紙による。
受験承諾書	現職教員等 (有職者)	本学所定の用紙により、所属長が作成したもの。
研究業績書	現職教員等	本学所定の用紙による。3年以上の教職経験を有するもので、学力検査科目の代替を希望する者。
身分証明書	外国人志願者	日本に在住する外国人は、市町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を、その他の者はパスポートの写しを提出すること。
学位授与証明書又は学位授与見込証明書	出願資格(2)に該当する者	学位授与機構が作成したもの。

教育職員免許状授与証明書又は教育職員免許状の写し	出願資格(7)に該当する者のうち、教育職員免許状を有する者	免許状を授与した都道府県教育委員会が作成したもの。
受験票等返信用封筒	全 員	封筒(長形3号)に362円分の切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を明記したもの。 ※郵便料金の改定があった場合は、改定後の料金が適用されますので、ご注意ください。

- (注) 1 外国語で記載されたものについては、日本語訳を添付してください。
 2 出願書類等により志願者から提出された個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)に則り、本学入学者選抜・合格者発表、追跡調査及びこれらに付随する事項並びに入学後の学務業務における学籍・成績管理、修学指導等、授業料の債権管理を行うためにのみ利用し、他の目的には利用しません。

(3) 出願上の注意事項

- ① 出願受付後の学修コース・専門選択領域及び受験科目の変更は認めません。
- ② 出願書類に不備・記入もれなどがある場合は受け付けられませんので、十分点検して提出してください。なお、不備書類は返却します。
- ③ 入学許可の後においても提出書類の記載と相違する事実が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

(4) 受験票発送日

区分	受験票発送日
A日程	令和元年10月17日(木)
B日程(予定)	令和元年12月10日(火)
C日程(予定)	令和2年2月4日(火)

4 選 抜 方 法

(1) **一般入学者の選抜方法**

入学者の選抜は、学力試験〔筆記試験、実技試験及び面接〕、出身大学等の成績証明書を総合して行います。

ア 学力試験は、筆記試験、実技試験及び面接からなっている。

イ 専門選択科目は、各学修コースで定められた科目の中から1科目を選択する。

ウ 専門選択科目は、研究希望調書に基づき入学後、主として研究しようとする専門分野の科目を選択する。

エ 筆記試験及び実技試験の配点は、それぞれ100点であり、面接は、4段階(A～D)で評価する。

学力試験科目

1. 小論文
2. 英語
3. 専門選択科目（選択1科目）

学修コース	専門選択科目（選択1科目）
学校臨床系	教育課程・方法学，学校経営， 教育心理学，発達心理学
人間発達系	教育学・教育史，教育社会学，社会教育， 教育心理学，発達心理学，障害児心理学，障害児保健学
生活・健康系	家庭科教育学，被服学，保育学，生活経営学， 健康教育学，健康運動学
言語・社会系	国語科教育学，国語学，国文学，漢文学，書道， 社会科教育学，日本史学，地理学，倫理学，法律学， 英語教育学，英語学，英米文学
理数・環境系	数学科教育学，代数学，理科教育学，物理学，化学，生物学，地学， 技術科教育学，機械技術，木材加工技術，栽培技術
芸術・スポーツ系	音楽科教育学，器楽〈ピアノ〉（注4），声楽（注4），作曲（注4），音楽学， 美術科教育（注4），絵画（注4），彫刻（注4）， デザイン（注4），工芸（注4），体育学，運動学，学校保健

- （注）1 選択した専門選択科目は，志願票の専門選択科目欄に科目名を記入してください。
 2 英語は，辞書の持込可。ただし，辞書は1冊のみ（種類は問わない）とします。なお，電子辞書（スマートフォンなどのアプリを含む）は不可とします。
 3 専門選択科目は，辞書の持込不可。
 4 芸術・スポーツ系学修コースにおける次の専門選択科目は，下表のとおりです。

器楽〈ピアノ〉	任意の独奏曲を暗譜演奏のこと。								
声楽	任意の声楽曲（歌曲1曲とアリア（オペラ，オペレッタ，オラトリオ）1曲） 計2曲を原語で暗譜演奏のこと。なお，伴奏者が必要な場合，各自同伴すること。								
作曲	和声及び創作試験								
絵画，彫刻， デザイン，工芸， 美術科教育	<p>実技試験を受ける者は，自作の実技作品3点以内（大きさ，種類は問わない）を試験当日持参すること。ただし，それができない場合は，指定した期間【以下の期間】に教育学部美術科に搬入すること。作品搬入が困難な場合は，写真でも可とする。写真の場合には所属長等の証明書（書式自由）を添付すること。また美術科教育を志望する者は論文（卒業見込みの者は予定している研究の概要2,000字程度）を当日持参し提出すること。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>指定期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A日程</td> <td>令和元年10月23日（水）又は24日（木）</td> </tr> <tr> <td>B日程（予定）</td> <td>令和元年12月18日（水）又は19日（木）</td> </tr> <tr> <td>C日程（予定）</td> <td>令和2年2月12日（水）又は13日（木）</td> </tr> </tbody> </table> <p>※業者委託による搬入の宛先は，下記のとおりとする。 〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号 鹿児島大学教育学部美術科 音楽・美術科棟2F 美術科事務室（電話099-285-7901） 注：搬入・搬出中及び保管中の作品の破損等については，大学は責任を負いません。</p>	区分	指定期間	A日程	令和元年10月23日（水）又は24日（木）	B日程（予定）	令和元年12月18日（水）又は19日（木）	C日程（予定）	令和2年2月12日（水）又は13日（木）
区分	指定期間								
A日程	令和元年10月23日（水）又は24日（木）								
B日程（予定）	令和元年12月18日（水）又は19日（木）								
C日程（予定）	令和2年2月12日（水）又は13日（木）								

4. 面接

学修コースにかかわる諸問題や出願時に提出した研究希望調書を中心に試問します。

(2) **現職教員等の選抜方法**

3年以上の教職経験(注1)をもつ現職教員等の入学者選抜は、学力試験〔筆記試験、実技試験及び面接〕、又は代替として認められる研究業績の審査、出身大学の成績証明書等の結果を総合して行います。

ア 学力試験科目は一般入学者と同じである。ただし、英語を研究業績によって代替することができる。

イ 代替の認められる研究業績は、①著書 ②学会誌、研究機関等の研究紀要、その他雑誌等に掲載された論文 ③作品 ④演奏 ⑤教育・教科等の研究会における研究報告書 ⑥その他これらに準ずるもの。

ウ 代替の研究業績は、本学所定の研究業績書に「著書」、「論文」、「作品」、「演奏」、「研究報告書」、「その他」に区分のうえ、その題目・概要(200字以内)等を記載し、それらの原本又は写しを添付して提出すること。

エ 芸術・スポーツ系(音楽)の場合、上記ウの研究業績のうち、「作品」、「演奏」の記載については以下のとおりとする。演奏の分野においては、「リサイタル」、「ジョイントリサイタル」、「共演」、「その他」に区分のうえ記載し、プログラム、チラシ等の原本又は写しを添付すること。(演奏録音、録画等があれば添付することが望ましい。)

オ 筆記試験及び実技試験の配点は、それぞれ100点であり、面接は4段階(A～D)で評価する。

(注1) 学校教育法第1条に定める学校における教職経験とする。

(3) **外国人留学生の選抜方法**

外国人留学生の選抜は、日本語による筆記試験、口述試験及び出身大学等の成績証明書を総合して行います。

ア 筆記試験及び口述試験は、志望学修コース又は志望分野で必要とする基礎的な知識・判断力と日本語能力の2つの観点から評価する。

イ 英語教育学、英語学、英米文学の分野の筆記試験については、英語で解答させる場合もある。

ウ 器楽(ピアノ)、声楽、作曲の分野については、口述試験の中で実技を課す。

エ 絵画、彫刻、デザイン、工芸の受験者は、自作の実技作品3点以内(大きさ、種類は問わない)を試験当日持参すること。ただし、それができない場合は、指定した期間【以下の期間】に教育学部美術科に搬入すること。作品搬入が困難な場合は、写真でも可とする。写真の場合には所属長等の証明書(書式自由)を添付すること。また、美術科教育を志望する者は論文(卒業見込みの者は予定している研究の概要2,000字程度)を当日持参し提出すること。

区分	指定期間
A日程	令和元年10月23日(水)又は24日(木)
B日程(予定)	令和元年12月18日(水)又は19日(木)
C日程(予定)	令和2年2月12日(水)又は13日(木)

オ 筆記試験、実技試験及び口述試験の配点は、それぞれ100点である。

5 学力試験の日程

区分	試験日
A日程	令和元年 10 月 26 日(土)
B日程(予定)	令和元年 12 月 21 日(土)
C日程(予定)	令和 2 年 2 月 15 日(土)

○試験時間割(芸術・スポーツ系学修コースの音楽科教育学, 器楽〈ピアノ〉, 声楽, 作曲, 音楽学の受験者以外)

	9:30 ~ 10:30	11:00 ~ 12:00	12:50 ~ 14:20	14:50 ~
一般選抜 現職教員等選抜	英語	小論文	専門選択科目 (選択1科目)	面接
外国人 留学生選抜			専門選択科目 (選択1科目)	口述試験

○試験時間割(芸術・スポーツ系学修コースの音楽科教育学, 器楽〈ピアノ〉, 声楽, 作曲, 音楽学の受験者)

	9:30 ~ 10:30	11:00 ~ 12:00	12:50 ~	
一般選抜 現職教員等選抜	英語	小論文	専門選択科目 (選択1科目)	面接
外国人 留学生選抜			専門選択科目 (選択1科目)	口述試験

6 合格者発表

区分	日時
A日程	令和元年 11 月 11 日(月) 10 時
B日程(予定)	令和 2 年 1 月 10 日(金) 10 時
C日程(予定)	令和 2 年 3 月 6 日(金) 10 時

※教育学部の掲示板および教育学部ウェブサイト (<http://www2-edu.edu.kagoshima-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲示するとともに, 合格者には合格通知書を送付します。

7 入学手続

合格者には, 入学に際し必要な書類を送付します。

- (注) 1. 入学手続き終了後, 令和 2 年 3 月 31 日(火) 17 時までに入學辞退の意思表示をした場合は, 納付した諸会費等(教育学部後援会会費, 学生教育研究災害傷害保険料等)を返還します。
2. 納入した入学料は, いかなる理由があっても返還いたしません。
3. 入学手続後に入学を辞退する場合, 入学料徴収猶予又は入学料免除の申請は無効となり, 入学料を納入していただくことになります。

8 納付金

入学料	282,000 円 (予定額)	※入学料, 授業料に改定があった場合は,
授業料 前期分	267,900 円 (予定額)	改定後の金額が適用されます。
(年額)	535,800 円 (予定額)	

- (注) 1. 入学料, 授業料については, 免除の制度があります。
2. 在学中に授業料の改定が行われた場合には, 改定後の金額が適用されます。

9 障害を有する入学志願者の事前相談

本専攻に入学を志願する者で、障害（下表参照）又は発達障害がある場合は、受験上及び修学上の特別な配慮を必要とすることがありますので、事前に本研究科に相談してください。

区 分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害 者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも
聴 覚 障 害 者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢 体 不 自 由 者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病 弱 者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも

（注）学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠した。

(1) 相談時期

相談の内容によっては、本専攻の試験までに対応できず、特別な配慮が講じられないこともありますので、以下の日時までに相談してください。

区分	日時
A日程	令和元年 8月 28日(水) 17時まで
B日程（予定）	令和元年 10月 30日(水) 17時まで
C日程（予定）	令和元年 12月 25日(水) 17時まで

(2) 相談方法

電話又は下記窓口での相談いずれでも構いませんが、下記事項等を記載した相談書（様式任意）を提出していただく場合があります。

- ①学修コース等名、氏名、生年月日
- ②障害の種類、程度（医師の診断書が必要な場合があります。）
- ③受験の際、特別な配慮を希望する事項及び内容
- ④大学等在学中にとられていた特別な配慮
- ⑤日常生活の状況
- ⑥本人の現住所及び電話番号
- ⑦その他参考書類（身体障害者手帳等の写し）

(3) 問い合わせ先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目20番6号
鹿児島大学教育学部教務係 電話 099-285-7713

10 学 位

本専攻に2年（標準）以上在学し、各学修コースで定めた授業科目30単位以上を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した者は、鹿児島大学大学院教育学研究科教育実践総合専攻を修了したものと認定され、「修士（教育学）」の学位が授与されます。

11 教育職員免許状

本専攻において取得できる専修免許状は次のとおりです。ただし、専修免許状の所要資格を得ようとする場合は、取得しようとする専修免許状（中学校教諭及び高等学校教諭の専修免許状については、その免許教科）の一種免許状を有することが必要です。

専攻	教員免許状の種類	免許教科
教育実践総合専攻	小学校教諭専修免許状	
	中学校教諭専修免許状	国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 技術, 家庭, 英語
	高等学校教諭専修免許状	国語, 書道, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 保健, 家庭, 工業, 英語
	幼稚園教諭専修免許状	
	養護教諭専修免許状	
	特別支援学校教諭専修免許状 (知的障害者に関する教育の領域) (肢体不自由者に関する教育の領域) (病弱者に関する教育の領域)	

12 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について

現職教員等に対しては、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置を適用し、現職教員等が高等教育を受ける機会を拡大するための措置を行います。

教育方法の特例措置の実施方法は、次のとおりです。

A：主に教育委員会から推薦される現職教員及び1年間の休業制度を利用する現職教員

- ① 1年次は、在職校等における勤務を離れて大学院での学業に専念し、課程修了に必要な30単位のうち22単位以上を修得するものとする。
- ② 2年次は、在職校等に勤務し、週1回以上定期的に通学して、残りの単位を修得するとともに修士論文作成のための指導を受けるものとする。

B：現職教員をはじめとする社会人に対して

月曜日から金曜日までの夜間及び土曜日の開講、夏季・冬季休業期間を利用した集中講義等の開講により、課程修了に必要な30単位を修得し、修士論文作成のための指導を受けるものとする。

13 長期履修学生制度について

本専攻には長期履修学生制度があります。これは職業を有している等の事情により、標準修業年限2年で修了することが困難な大学院生が、標準修業年限を超えて一定の期間（3年又は4年）にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することをあらかじめ申請し、その計画的な履修を認定する制度です。

なお、長期履修学生の授業料年額は、一般学生が標準修業年限在学した場合の授業料総額を、長期履修学生として許可された履修期間で除した金額となります。

入学手続の際に必要な書類を送付しますが、希望者はあらかじめ予定指導教員等に相談してください。

14 小学校教員免許取得プログラム（長期在学履修）について

本プログラムは、中学校又は高等学校の教員免許状取得者が大学院に在籍しながら小学校教員免許状を取得するために、特別に設定されたプログラムで、修業年限は3年間です。本プログラムの学生は、本専攻の学修コースのいずれかに所属します。

履修にあたっては、本専攻開設科目を「教育学研究科（修士課程）の履修案内」に従って履修します。それに加えて、小学校教員免許状取得に必要な教育学部開設科目を履修するとともに、小学校教育実習に関わる実習、介護等体験に参加しなければなりません。

- ・小学校教育実習に関わる実習

実習の名称と期間及び参加年次は以下の通りです。

参加観察実習	5日間	1年次（中学校教員免許状取得者は不要）
教育実習（事前指導、事後指導）	週1回	2年次
教育実習	2週間	2年次

- ・介護等体験

中学校の教員免許状を取得している者以外は、介護等体験に参加する必要があります。

介護等体験の場所と期間及び参加時期は以下の通りです。

附属特別支援学校	2日間	2年次
社会福祉施設等	5日間	2年次

15 平成31年度 入学試験実施状況

	学修コース	募集人員	志願者	合格者	入学者
教育実践総合専攻	学校臨床系	22 (若干人)	0	0	0
	人間発達系		8(2)	6(1)	5(1)
	生活・健康系		0	0	0
	言語・社会系		2	2	1
	理数・環境系		8	6	6
	芸術・スポーツ系		7(2)	5(1)	5(1)
	計		25(4)	19(2)	17(2)

※（ ）内は、外国人留学生を内数で示しています。

16 入試情報開示

学力試験問題の開示

学力試験科目の問題を、教育学部教務係で開示しています。（過去5年分）

学力試験問題の正解・解答例の開示

合格者発表後、「正解・解答例」を教育学部教務係で開示します。

なお、次の点に留意してください。

- (1) 正解・解答例については、「例示」であり、複数の正解・解答があり得ます。
- (2) 正解・解答例に代えて、出題意図を開示する場合があります。

入学者選抜試験個人成績の開示

令和2年度入学者選抜に係る受験者の個人成績を次により開示します。

【1】開示内容

試験成績

〔得点〕学力試験の個々の科目の得点及び合計得点を開示します。

〔面接〕面接評価の段階を開示します。

【2】開示期間

区分	開示期間
A日程	令和元年12月2日(月)～令和2年1月31日(金) 9時～17時
B日程(予定)	令和2年2月3日(月)～令和2年3月31日(火) 9時～17時
C日程(予定)	令和2年4月1日(水)～令和2年5月29日(金) 9時～17時

※土曜日・日曜日・祝日・年末年始〔令和元年12月27日(金)～令和2年1月3日(金)〕を除きます。

【3】請求者

受験者本人に限ります。(代理人による請求は認められません)

【4】開示方法

(1) 教育学部教務係で開示します。開示請求を行う者は、次の①及び②を必ず持参してください。

① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)

② 令和2年度(○日程：○にはABCの該当する日程が入る)鹿兒島大学大学院教育学研究科教育実践総合専攻(修士課程)受験票

(2) 郵送により開示請求を行う者は、次の①～③を取り揃えて、封筒の表に「入試情報開示請求」と朱書きし、必ず書留郵便で請求してください。

ただし、開示期間中の消印のあるもの限り受け付けます。

① 入試情報開示請求書(様式は右記のとおり)

② 令和2年度(○日程)鹿兒島大学大学院教育学研究科教育実践総合専攻(修士課程)受験票

③ 返信用封筒(長形3号封筒に簡易書留料金を含めた392円分の切手を貼付し、自分の宛先を明記したもの)

※郵便料金の改定があった場合は、改定後の料金が適用されますので、ご注意ください。

(3) 請求先

〒890-0065 鹿兒島市郡元一丁目20番6号
鹿兒島大学教育学部教務係

A4用紙

入試情報開示請求書

令和 年 月 日

鹿兒島大学大学院教育学研究科長 殿

請求者 住所

氏名

電話

受験学修コース

受験番号

私の入試成績について、下記のとおり入試情報の開示を請求します。

記

(開示を希望するものの番号に○を付してください。)

1. 得点 2. 面接評価

【5】その他

平成31年度以前の個人成績は開示しません。

※上記の日付は入試情報開示請求日を記載してください。

17 授業担当教員

- ・教育学研究科の専任の担当教員氏名・主な授業科目・主な教育研究内容等は以下のとおりです。
(令和元年度を基に作成していますので、令和2年度は多少の変更があります。)
- (注)出願を希望する者は、志望する研究分野の教員にあらかじめ相談しておくことが望ましい。
- ・不明な点は、教育学部教務係(099-285-7713)にお問い合わせください。

授業担当教員一覧表

教育実践総合専攻

学修コース	教員氏名 (専門選択領域)	主な授業科目名	教員の主な研究テーマ
① 学校臨床系学修コース	平野拓朗 (教育課程・方法学)	学級の人間形成論	①戦後日本の教育実践史 ②教育と発達に関するフィールドワーク研究 ③授業研究のヴィゴツキー、ポスト・ヴィゴツキアンアプローチ
	高谷哲也 (学校経営)	学校経営の基礎と応用	①教師の力量と成長の特質に関する研究 ②教師の成長と力量発揮を促す学校経営・組織のあり方に関する研究 ③省察型校内研修の企画・運営に関する研究
	関山 徹 (教育心理学)	学校カウンセリングの理論と実際	①不登校の再登校支援についての研究 ②教師の心理的ストレスの研究 ③投影法の研究
	稲垣 勉 (教育心理学)	こころの健康マネジメントの理論と実践	①顕在的・潜在的シャイネスの低減に関する研究 ②顕在的・潜在的自尊感情の影響および規定因に関する研究 ③達成動機づけに関する研究
	今林俊一 (発達心理学)	児童生徒理解の方法と支援	①青年の自己意識に関する研究 ②児童の学習意欲に関する研究 ③教育実地研究に関する心理学的研究
② 人間発達系学修コース	前田晶子 (教育学・教育史)	発達と教育の思想史(日本)	①近代日本の発達観に関する研究 ②社会変動期における教育の社会史研究 ③学校文化・教員文化に関する研究
	杉原 薫 (教育学・教育史)	発達と教育の思想史(西洋)	①近代ドイツにおける子どもの保護に関する研究 ②近代ドイツにおける職業教育に関する研究 ③ジェンダーと教育との関係についての研究
	濱沖敢太郎 (教育社会学)	現代社会と子どもの発達	①戦後日本における勤労青少年教育の展開 ②少子化がもたらす中等教育への影響 ③子どもの貧困をめぐる政策効果の検証
	下木戸隆司 (教育心理学)	教育認知心理学	①ことばの認知心理学的研究 ②科学的発見過程の研究 ③創造性の心理学的研究
	島 義弘 (発達心理学)	発達心理学特論	①対人情報処理に関する研究 ②母子相互作用に関する研究 ③幼児・児童の社会性の発達に関する研究
	久保田治助 (社会教育)	社会教育学特論	①社会教育・生涯学習に関する研究 ②学校地域連携・特別活動(部活動を含む)に関する研究 ③地域福祉と地域政策に関する研究
	雲井未歎 (障害児心理)	障害児心理学特論	①障害児の認知発達に関する生理心理学的研究 ②学習の促進条件と介入効果に関する研究
	肥後祥治 (障害児保健)	障害者支援システム構築論特講	①障害児の行動上の問題に関する研究 ②障害児のコミュニケーション行動の形成に関する研究 ③障害児の支援システム構築に関する研究
③ 生活・健康系学修コース	黒光貴峰 (家庭科教育)	家庭科教育学特論 I	①家庭科教育の充実に向けた教材開発 ②家庭科教育におけるICTを活用した授業研究 ③学校教育における防災教育の充実に向けた学習プログラム開発
	瀬戸房子 (被服学)	被服学特論 I	①被服の快適性と機能性の評価に関する研究 ②生活資材への鹿児島県産天然資源の応用 ③衣生活教育に関する研究
	金 娟鏡 (保育学)	保育学特論 I	①育児ネットワークと母親の精神的健康 ②絵本と子どもの発達 ③子どもの遊びにおける意味の生成と空間の構成
	石橋愛架 (生活経営学)	生活経営学特論 I	うそ電話詐欺を防ぐための消費者教育に関する研究

学修コース	教員氏名 (専門選択領域)	主な授業科目名	教員の主な研究テーマ
③生活・健康系学修コース	石走知子 (健康教育)	養護実践学特論	①思春期・青年期の健康行動に関する研究 ②学校・地域における性教育に関する研究 ③家庭・学校・医療機関との連携に関する研究
	橋口 知 (健康運動,健康教育)	心身発達科学	①児童青年期心性に関する研究 ②スポーツと精神活動に関する研究
	福満博隆 (健康運動,健康教育)	レクリエーション・野外教育学	①野外教育に関する研究 ②レジャー・レクリエーションに関する研究 ③生涯スポーツに関する研究
	末吉靖宏 (健康運動)	健康運動学	①トレーニングおよび生活動作における筋負担度の研究 ②歩行および歩行リハビリテーションに関する研究
④言語・社会系学修コース	上谷順三郎 (国語科教育)	国語科教育学特論 I	①ドイツ語圏との比較国語教育研究 ②文学教育論研究 ③読者論研究
	梅崎 光 (国語学)	国語学特論	①日本語音韻史研究 ②中世日本語研究
	亀井 森 (国文学)	国文学特論	①近世文学および学芸史の研究 ②近世後期和歌・国学の研究 ③在外日本古典籍に関する研究
	大淵貴之 (漢文学)	漢文学特論	①中国勅撰類書の研究 ②中国文献学
	原田義則 (国語科教育)	国語科教育学特論 II	①作文教育研究 ②国語科教育実践史研究
	瀬筒寛之 (書道)	書道特論 I	①漢字の書体史に関する研究 ②書表現とその技法に関する研究
	田口紘子 (社会科教育)	社会科教育学特論 II	①社会科における学習論に関する研究 ②NIE社会科に関する研究
	福井 駿 (社会科教育)	社会科教育学特論 I	①市民性教育に関する研究 ②哲学教育に関する研究
	日隈正守 (歴史学)	日本史特論 I	①薩摩・大隅国における国一宮制の研究 ②薩摩・大隅国における国一宮と交易に関する研究
	佐藤宏之 (歴史学)	日本史特論 III	①近世大名と「御家」意識に関する研究 ②御家騒動に関する研究
	深瀬浩三 (地理学)	人文地理学特論 I	①農作物産地の生産・流通システムの再編に関する研究 ②農業・農村地域の空間構造に関する研究
	永迫俊郎 (地理学)	自然地理学特論 I	①南九州・琉球列島の土地と人間についての環境地理学的研究 ②第四紀テフラおよび火山噴火の地表への影響に関する研究 ③流砂系・沖積低地・海岸地形の発達史研究
	竹内 宏 (社会学)※	国際社会特論 I	①ドイツと日本における外国人事情・政策の比較研究 ②「越境」・「異文化体験」をテーマとする研究
	新名隆志 (倫理学)	倫理学特論 I	①ニーチェ哲学の研究 ②応用倫理学の研究
	城野一憲 (法学)	法学特論 I	①表現の自由に関する研究 ②表現規制に対する司法審査の歴史的展開に関する研究
	石原知英 (英語科教育)	英語教育学特論	①英語教育学(第二言語習得論, 言語評価論) ②言語教育における翻訳(Translation in Language Teaching)

学修コース	教員氏名 (専門選択領域)	主な授業科目名	教員の主な研究テーマ
④ 言語・社会系学修コース	坂本育生 (英語科教育)	特殊目的の英語教育	①特殊目的のための英語教育(English for Specific Purposes) ②早期英語教育研究 ③英語教育教材研究
	濱崎孔一郎 (英語学)	英文法の理論	①英文法の理論に関する研究 ②英語の統語構造に関する研究 ③英語の意味構造および機能に関する研究 ④英語の歴史的変化に関する研究
	丹羽佐紀 (英米文学)	英米演劇と小説の世界	①イギリス近代初期演劇全般の研究 ②シェイクスピアの劇作品の研究
	千代田夏夫 (英米文学)	英米文学特論 I	①ゴシック小説の研究 ②F.スコット・フィッツジェラルドの研究
⑤ 理数・環境系学修コース	山口武志 (数学科教育)	数学教育学特論 I	①算数・数学教育における社会的相互作用に関する認識論的・記号論的研究 ②構成主義に基づく算数・数学指導に関する教師の意識に関する研究
	和田信哉 (数学科教育)	数学教育学特論 II	①探究的な算数・数学の授業に関する記号論的研究 ②算数と数学の接続を意図した授業構成に関する研究
	有家雄介 (代数学)	代数学特論	①頂点作用素代数の表現論の研究 ②モジュラー形式の研究
	土田 理 (理科教育)	初等理科教育学特論	①観察・実験場面における児童・生徒のグラフ認知過程の研究 ②観察・実験活動時コミュニケーションの研究 ③理科学習へのニューメディアとテクノロジーの効果的活用の研究
	内ノ倉真吾 (理科教育)	中等理科教育学特論	①理科授業におけるアナロジー・モデルの活用に関する研究 ②理科教育における言語能力の育成に関する研究 ③理科の教授方法・授業研究に関する研究
	道下洋二 (物理学)	物理学特論 II	①基本弦の摂動のおよび非摂動的力学の研究 ②重力の量子効果の研究
	錦織 寿 (化学)	有機化学特論	①スルフィド誘導体を用いた触媒の開発 ②植物由来の色素を用いた繊維類の染色法の開発
	須磨航介 (化学)	無機化学特論	①大気化学、星間化学に関連する短寿命分子種に関する分光学的研究 ②大規模分子軌道計算を用いた短寿命分子種に関する理論的研究
	栗和田隆 (生物学)	動物学特論	①昆虫の交尾行動に関する研究 ②動物の生活史に関する研究
	川西基博 (生物学)	植物学特論	①植物群落の動態に関する研究 ②草本種の共存に関する研究
	松井智彰 (地学)	結晶学特論	①珪酸塩鉱物の結晶構造に関する研究 ②島弧産灰長石巨晶の生成メカニズムに関する研究
	坂田桂一 (技術科教育)	技術教育学特論	①技術教育における技能教授に関する研究 ②技術教育における教材および授業研究
	深川和良 (機械)	機械工学特論	①積層材料における破壊挙動に関する研究 ②金属材料における塑性加工技術に関する研究
	寺床勝也 (木材加工)	木材加工学特論	①木材・木質材料の製造技術と物性に関する研究 ②木材・木質材料の教育利用に関する研究
浅野陽樹 (栽培)	栽培学特論	①ダイズの不耕起栽培に関する研究 ②土壌の物理性が作物の生産性に及ぼす影響に関する研究	

学修 コース	教員氏名 (専門選択領域)	主な授業科目名	教員の主な研究テーマ
⑥ 芸術・ スポーツ系学修 コース	今由佳里 (音楽科教育)	音楽科教育学特論	①子どもの音楽表現に関する研究 ②スイス・フランス語圏の音楽教育に関する研究 ③鑑賞教育に関する研究
	日吉 武 (音楽科教育)	音楽科教育学研究	①音楽科教育のカリキュラム開発と指導・評価の方法に関する研究 ②学校音楽における歌唱・合唱指導法の研究
	山下 晋 (器楽<ピアノ>)	ピアノ特論 I	①ピアノ演奏法と楽曲演奏の研究 ②ピアノ演奏指導法の研究
	齊藤 祐 (声 楽)	声楽特論 I	①歌唱法(ベルカント)の研究 ②シューベルトにおけるリート演奏法 ③フースラーの研究 ④合唱指導法
	石田匡志 (作 曲)	作曲特論	①作曲技法の研究 ②作曲作品の実践的研究
	梅林郁子 (音楽学)	音楽学特論	①19世紀のドイツ・リート研究 ②フーゲー・ヴォルフ研究
	小江和樹 (美術科教育)	美術科教育学特論	①美術教育における基礎造形に関する研究 ②美術教育における色彩教育に関する研究
	桶田洋明 (絵 画)	絵画特論	①卵テンペラ、アクリル、油絵の具を用いた絵画表現の研究 ②具象絵画における描画法に関する研究
	池川 直 (彫 刻)	彫刻特論	①具象彫刻表現とその技法に関する研究 ②ブロンズ・石・木を用いた彫刻表現の研究
	和田七洋 (デザイン)	デザイン特論	①手描きイラストレーションを用いたインタラクティブコンテンツの制作研究 ②視覚芸術における密集・複製等に関する研究 ③デザイン教育に関する研究
	清水 香 (工 芸)	工芸特論	①陶磁における素材研究 ②陶土・磁土を用いた空間表現の研究
	藤田 勉 (体育学)	体育心理学特論	①体育授業・スポーツにおける動機づけの研究 ②体育授業における学業的援助要請の研究
	與儀幸朝 (運動学)	武道学特論	①柔道の授業づくりに関する研究 ②児童生徒の体力・運動能力に関する研究
	前田雅人 (学校保健)	生理学特論	①スポーツ心臓に関する研究 ②スポーツ傷害に関する研究
宮脇千恵美 (学校保健)	公衆衛生学特論	①身体活動の性差に関する研究 ②若年女性の身体活動に関する研究	

(注) ※は専門領域を示しています。



【検定料振替払込受付証明書(お客さま用)】貼付用台紙

選 抜 区 分	修 士 課 程
志 願 者 氏 名	
志 願 学 修 コー ス	教育実践総合専攻 教育学研究科 _____ 学修コース

検定料振替払込受付証明書(お客さま用)を貼付
すること。

令和2年度(____日程)

鹿児島大学大学院教育学研究科教育実践総合専攻(修士課程)

入学志願票(一般・現職教員等)

(志願希望に1つだけ○印をつける)

受験番号	※	受付期日	※	月	日	上半身、脱帽、 正面向きで 3ヶ月以内 に撮影した 写真を貼付 すること。 (4cm×3cm)
フリガナ						
氏名			性別			
生年月日	昭和 平成	年	月	日	(満 歳)	
専攻 志望 学修コース 専門選択領域	専攻	学修コース	専門選択領域			
	教育実践総合専攻					
※学修コースおよび専門選択領域は右の欄から1つ選択する。	学修コース	専門選択領域				
	①学校臨床系	教育課程・方法学, 学校経営, 教育心理学, 発達心理学				
	②人間発達系	教育学・教育史, 教育社会学, 社会教育, 教育心理学, 発達心理学, 障害児心理, 障害児保健				
	③生活・健康系	家庭科教育, 被服学, 保育学, 生活経営学, 健康教育, 健康運動				
	④言語・社会系	国語科教育, 国語学, 国文学, 漢文学, 書道, 社会科教育, 歴史学, 地理学, 倫理学, 法学, 英語科教育, 英語学, 英米文学				
	⑤理数・環境系	数学科教育, 代数学, 理科教育, 物理学, 化学, 生物学, 地学, 技術科教育, 機械, 木材加工, 栽培				
	⑥芸術・スポーツ系	音楽科教育, 器楽(ピアノ), 声楽, 作曲, 音楽学, 美術科教育, 絵画, 彫刻, デザイン, 工芸, 体育学, 運動学, 学校保健				
最終学歴	国立・公立・私立 (いずれかを○で囲んでください。)					
	大学	学部	学科 課程	昭和 平成 令和	卒業 見込 修了 見込 退学	
現住所	〒 TEL() -					
連絡先	〒 TEL() -					
所有する(見込) 教員免許状の種類	教諭	種免許状(教科)	教諭	種免許状(教科)		
	教諭	種免許状(教科)	教諭	種免許状(教科)		
履修方法等	長期履修学生制度・小学校教員免許取得プログラム *申請を予定している場合に○印(8・9頁参照)					
現職等	1. 認定こども園 保育教諭 2. 幼稚園教諭 3. 小学校教諭 4. 中学校教諭 5. 高等学校教諭 6. 特別支援学校教諭 7. 短期大学教員 8. 民間会社 9. その他					
	教育方法の特例措置 A・B いずれかに○印(8頁参照)					
	教職歴	年	月	勤務先		
	令和2年4月1日現在で記入					
受験科目	専門 選択科目	研究業績等による代替希望		有	無	

- (注) 1. ※印欄は、大学で記入する。
 2. 専門選択科目は、募集要項の4頁から選択して記入すること。
 3. (____日程) の下線部分には受験する日程(A・B・C)を記入すること

履 歴 書

学 歴	年 月 日	事 項
	年 月 日	高等学校卒業
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
職 歴	年 月 日	事 項
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
	年 月 日	
年 月 日		上記のとおり相違ありません。 氏 名

(注) 学歴は高等学校卒業から記入し、大学以後については入学、卒業を記入すること。

※ 芸術・スポーツ系学修コースの受験者のうち、実技検査の声楽・器楽（ピアノ）を選択した者は、下記の欄に記入すること。

作 曲 者 名	曲 名 ・ 作 品 名 ・ 楽 章 等



令和2年度(____日程)
鹿児島大学大学院教育学研究科
教育実践総合専攻
(修士課程)

写 真 票

(一般・現職教員等)
(志願希望に1つだけ○印をつける)

※ 受験番号	
志望学修コース	
専門選択領域	
フリガナ	
氏 名	
専門選択科目 (4頁の表から 1科目選択)	代替 科目
<p>上半身、脱帽、 正面向きで 3ヶ月以内 に撮影した 写真を貼付 すること。 (4cm×3cm)</p>	



令和2年度(____日程)
鹿児島大学大学院教育学研究科
教育実践総合専攻
(修士課程)

受 験 票

(一般・現職教員等)
(志願希望に1つだけ○印をつける)

※ 受験番号	
志望学修コース	
専門選択領域	
フリガナ	
氏 名	
専門選択科目 (選択1科目)	代替 科目
<p>上半身、脱帽、 正面向きで 3ヶ月以内 に撮影した 写真を貼付 すること。 (4cm×3cm)</p>	

- (注) 1. ※印欄は大学で記入する。
2. (____日程) の下線部分には受験する日程 (A・B・C) を記入すること。

令和2年度(____日程)
鹿児島大学大学院教育学研究科教育実践総合専攻(修士課程)
外国人留学生入学志願票

受験番号	※	受付期日	※	
フリガナ			月 日	上半身, 脱帽, 正面向きで 3ヶ月以内 に撮影した 写真を貼付 すること。 (4cm×3cm)
氏名 (自国語)		性別		
(ローマ字)				
生年月日	19 年 月 日 (満 歳)			
国籍				
専攻 志望 学修コース 専門選択領域	専攻	学修コース	専門選択領域	
	教育実践総合専攻			
※学修コースおよび専門選択領域は右の欄から1つ選択する。	学修コース	専門選択領域		
	①学校臨床系	教育課程・方法学, 学校経営, 教育心理学, 発達心理学		
	②人間発達系	教育学・教育史, 教育社会学, 社会教育, 教育心理学, 発達心理学, 障害児心理, 障害児保健		
	③生活・健康系	家庭科教育, 被服学, 保育学, 生活経営学, 健康教育, 健康運動		
	④言語・社会系	国語科教育, 国語学, 国文学, 漢文学, 書道, 社会科教育, 歴史学, 地理学, 倫理学, 法律学, 英語科教育, 英語学, 英米文学		
	⑤理数・環境系	数学科教育, 代数学, 理科教育, 物理学, 化学, 生物学, 地学, 技術科教育, 機械, 木材加工, 栽培		
	⑥芸術・スポーツ系	音楽科教育, 器楽(ピアノ), 声楽, 作曲, 音楽学, 美術科教育, 絵画, 彫刻, デザイン, 工芸, 体育学, 運動学, 学校保健		
最終学歴	学校名	大学	学部	学科 課程
	卒業(修了)	年 月 日		
現住所	〒 TEL () -			
連絡先	〒 TEL () -			

受験科目	専門選択科目 (選択1科目)	※専門選択科目は, 募集要項の4頁から選択して記入すること。
------	-------------------	--------------------------------

(注) 1. 上記の※印欄は大学で記入する。
2. (____日程) の下線部分には受験する日程 (A・B・C) を記入すること。

※ 芸術・スポーツ系学修コースの受験者のうち, 実技検査の声楽・器楽(ピアノ)を選択した者は, 下記の欄に記入すること。

作曲者名	曲名・作品名・楽章等

学 歴

Educational Background:

	学校名及び所在地 Name and Address of School	正 規 の 修 学 年 数 Required Years of Study	入 学 及 び 卒 業 年 月 Year and Month of Entrance and Completion	専攻科目 Major Subject	学 位 — 資 格 — Diploma or Degree Awarded
初等教育 Elementary Education 小学校 Elementary School	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from 卒業 to		
中 等 教 育	中学校 Junior High School	年 yrs	入学 from 卒業 to		
	高等学校 Senior High School	年 yrs	入学 from 卒業 to		
高等教育 Higher Education 大学 Undergraduate Level	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from 卒業 to		
大学院 Graduate Level	学校名 Name 所在地 Location	年 yrs	入学 from 卒業 to		
以上を通算した全学校教育修学年数 Total Years of Schooling Mentioned Above		年 yrs			

(注) 上欄に書ききれない場合には、適当な別紙に記入して添付すること。
If the blank spaces provided above are insufficient, please attach sheet.

職 歴

Employment Record : Begin with the most recent.

勤務先及び所在地 Name and Address of Place of Employment	勤 務 期 間 Period of Employment	職 務 内 容 Type of Work
	From to	
	From to	

日本語の学習歴

Japanese Language Background:

写

外国人留学生選抜

令和2年度(____日程)
鹿児島大学大学院教育学研究科
教育実践総合専攻
(修士課程)

写 真 票

※ 受験番号	
志望学修コース	
専門選択領域	
フリガナ	
氏 名	自国語
	ローマ字
専門選択科目 (4頁の表から 1科目選択)	
上半身、脱帽、 正面向きで 3ヶ月以内 に撮影した 写真を貼付 すること。 (4cm×3cm)	

受

外国人留学生選抜

令和2年度(____日程)
鹿児島大学大学院教育学研究科
教育実践総合専攻
(修士課程)

受 験 票

※ 受験番号	
志望学修コース	
専門選択領域	
フリガナ	
氏 名	自国語
	ローマ字
専門選択科目 (選択1科目)	
上半身、脱帽、 正面向きで 3ヶ月以内 に撮影した 写真を貼付 すること。 (4cm×3cm)	

- (注) 1. ※印欄は大学で記入する。
2. (____日程) の下線部分には受験する日程 (A・B・C) を記入すること。

令和2年度

研究希望調書

鹿児島大学大学院教育学研究科
教育実践総合専攻

受験番号	※	フリガナ 氏名		志望学修コース	
これまでの研究の概要					
入学後の研究計画の概要					

(注) ※印欄は、大学で記入する。

令和2年度

研究業績書

鹿児島大学大学院教育学研究科
教育実践総合専攻

受験番号	※	フリガナ 氏名			志望学修コース	
著書・論文・作品・演奏・研究報告書・その他の題目	発表年月	発行所，発表雑誌の 名称		左記の著書・論文・作品・演奏・研究報告書・その他の概要(200字以内)		

(注) 1 ※印欄は，大学で記入する。

2 研究実績を「著書」，「論文」，「作品」，「演奏」，「研究報告書」，「その他」に区分して記載し，その原本または写しを添付すること。

令和2年度

令和 年 月 日

鹿児島大学大学院教育学研究科長 殿

(所属長)

職 印

受 験 承 諾 書

下記の者が貴大学大学院教育学研究科教育実践総合専攻（修士課程）

_____学修コースを受験することを承諾いたします。

記

職 名	氏 名

払 込 取 扱 票																			
00	福岡																		
口座記号番号																			
0	1	7	0	0	3	1	2	9	5	3	5	金額							
												千	百	十	万	千	百	十	円
															3	0	0	0	0
加入者名	国立大学法人 鹿児島大学																		
ご依頼人・通信欄	<small>おところ・おなまえ</small> ※ 志願研究科名 _____ 研究科 住 所 _____ フリガナ _____ 氏 名 _____ 連絡先 (_____)																		
日附印	<div style="border: 1px solid black; width: 100%; height: 100%; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> 日附印 </div>																		
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号福第 13665 号) これより下部には何も記入しないでください。																			

各票の※印欄は、ご依頼人において記載してください。

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
 切り取らないでお出ください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0 1 7 0 0 3																		
加入者名	国立大学法人 鹿児島大学																		
金額																			
												千	百	十	万	千	百	十	円
															3	0	0	0	0
ご依頼人	<small>おなまえ</small> ※ _____ 様																		
料 金	<small>(消費税込み)</small> 日 附 印																		
備 考	円 _____																		

この受領証は、大切に保管してください。

振替払込受付証明書(お客さま用)

(ご依頼人⇨郵便局・ゆうちょ銀行⇨ご依頼人)

口座記号番号	0 1 7 0 0 - 3 - 1 2 9 5 3 5																			
加入者名	国立大学法人 鹿児島大学																			
払込金額																				
												億	千	百	十	万	千	百	十	円
																3	0	0	0	0
ご依頼人住所氏名	_____																			
日 附 印																				
(承認番号福証第 1176 号)																				

- この振替払込受付証明書(お客さま用)を郵便局の窓口で受け取る際は、受付局日附印を確認してください。
- この振替払込受付証明書(お客さま用)を出願書類と同封して提出してください。

収入印紙

課税相当額以上
貼 付

印

(ご注意)

- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・払込みの際、法令等に基づき、運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。
- ・この用紙による、払込料金は、ご依頼人様が負担することとなります。
- ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

あて名シール

諸連絡用のあて先となるので、2枚とも正確に記入すること。

(切り離さないこと)

□	□	□	-	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

様

No.

(切り離さないこと)

□	□	□	-	□	□	□	□
---	---	---	---	---	---	---	---

(切り離さないこと)

様

No.